

第2回 市民ワークショップ

「戸隠の公共施設の課題と、その解決方法を考える。」 をテーマにグループ討議を行いました

7月8日(日)戸隠支所で第2回「地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

まず、施設の老朽化や人口減少、少子高齢化などの現状と課題、公共施設マネジメントについてのおさらいをしました。続いて、信州大学工学部寺内研究室の学生から、前回の意見のまとめ(振り返り)や新しい視点(テーマ)の提案を参考に、各グループで活発なグループ討議が行われました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

公共施設の状況(おさらい)

施設の老朽化/築30年以上が44%(公共施設白書)

人口減少/H12年(387,911人)をピークに減少
H52年には30万2千人に!(約22%減)

少子高齢化/生産年齢人口(支える世代)の減少
高齢化に伴う社会保障費の増加

公共施設マネジメントが必要

いつやるの?

今でしょ
公共施設のかしこい見直し方
とは?



グループ討議の様子 熱心に話し合っていました



複合化・集約化すると、いろいろなメリットが...

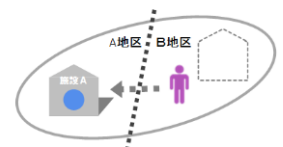
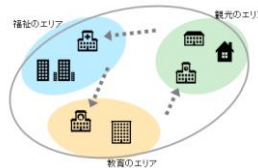
「人が集まることによる活性化」「移動時間短縮」

「多世代交流」「人員配置の効率化」

「共用部分の削減(エントランス、廊下、トイレ)」などなど

エリアで分ける

地区の外に目を向ける



将来まで残す施設のコストは、将来の市民が負担します。
→将来まで残していく施設はどれですか?

◇ワークショップの結果、戸隠地区の公共施設に対するご意見・ご質問などありましたら、遠慮なくお聞かせください。



長野市ホームページ
(市民ワークショップのページ)

<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/koukyou-ws/>

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

戸隠支所

電話:254-2323



各グループから発表された主な意見をご紹介します

【Aグループ】いつまでも住み慣れた地域で生活する環境を作る

- ◇戸隠は既に公共施設がまとまって配置されている
- ◇スキー場エリアの夏期シーズンの充実
- ◇いつまでマイカーを運転できるか（課題）。公共交通の充実が必要



【Bグループ】新しい「戸隠」を作る！！

- ◇「戸隠らしさ」自然が豊か、四季がはっきり、高原野菜、人情などなど・・・
- ◇戸隠の特徴として、地区の南側と北側にそれぞれ特徴がある
- ◇戸隠らしさを出すために（森林囃子、公民館、体育館、キャンプ場等の利活用）

【Cグループ】皆が使える直売所を中心とした交流施設を作る！

- ◇直売所を身近で集まりやすい拠点とすることで、地域の交流の場とし、定期的に健康教室などを実施することで、高齢者の健康につながる
- ◇若者や観光客とも交流できれば。「高齢者の健康」が戸隠の価値になれば。→ブランディング

【Dグループ】人と人をつなぐ拠点作り

- ◇何もないことを売りにできないか（柵）
- ◇地質化石博物館を拠点に、交流イベントを開催
- ◇短期滞在→長期滞在→移住・定住の流れを作りたい



【Eグループ】戸隠地区南北の結びつきと長野市街地との関係性

- ◇戸隠地区南北の結びつき そば博物館（とんくるりん）の活用
- ◇長野市街地との関係性 戸隠公民館・戸隠体育館・森林囃子の一体的な活用
- ◇観光客は戸隠を通過→妙高等へ宿泊（課題）

参加者アンケートから

- ◆公共施設を利用しつつ戸隠を元気にするという方法を考えていきたい。各地区ごとの特性を最大限に生かして発展的に考えたいと思う。
- ◆誰かがやってくれるではなく、自分たちが主体を持って変えていかないとしょうがないと思う。
- ◆年齢層やテーマ（視点）のおき方で、同じ施設の利活用について差があり参考になった。
- ◆この良い機会を続けてほしい！ などなど・・・

アドバイザーの寺内美紀子先生(信州大学工学部准教授)のコメントを紹介します



- 5チームそれぞれテーマが出てきたのは素晴らしいと思います。
- 郷土愛や地元愛ということはもちろん大事ですが、地元を俯瞰（ふかん）的に見ることができるといことは、戸隠の将来づくりを考える上では大切で、みなさんの戸隠地区に対する考え方が成熟していると感じています。
- ぜひ今日話題に上がった施設や、キーワード「農業体験」「直売」「合宿」「お年寄り」「交通の便」など、戸隠で考えるべき課題が明らかになったので、ぜひ3回目も頑張ってくださいと思います。

8月19日(日)は最終回！戸隠の公共施設の将来像を考えます！